

平成24年度SSHニュース タイ・バンコク視察

岡山理科大学附属高校

No.3

2012年9月3日

スーパーサイエンスには国際性を高める取組みがあります。本校では、来年3月に生徒10名ほどがタイ・バンコクで海外研修する予定です。その準備や具体的な計画を協議するため、本校教員4人(野間、高橋、石山、三垣)が、7月17日～20日、タイ・バンコクを訪れました。10月始めには募集をしますので、生徒の皆さんからの応募を期待します。

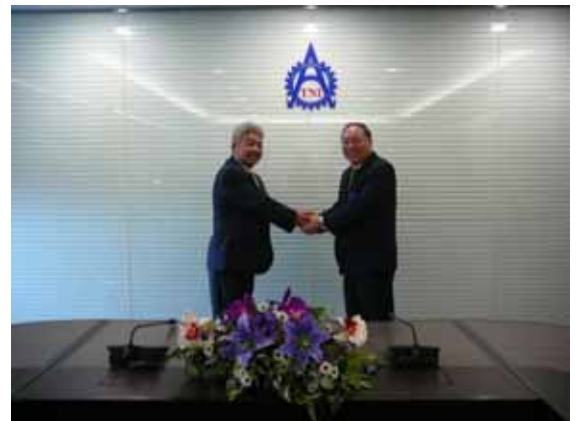
7月18日(水)

加計学園教育交流協定校である泰日(たいにち)工業大学を訪問し、3月の研修に向けて、具体的な計画が協議されました。

(午前)

3月の研修では、マングローブの植林活動を実施する計画が進められました。

また、本校高校生が泰日工業大学の大学生と現地高校生とグループを組み、ものづくりの課題をこなし、それをプレゼンテーションする活動も盛り込まれました。その時に、必要になるのがコミュニケーション能力です。タイの学生も、英語は外国語であり、英語のネイティブスピーカーではありません。したがって、ポーンアノン副学長は「日本の学生と話すときは、立場が同じなので無理な気負いがなくコミュニケーションがとれるのでは」と話されていました。



本校の野間教頭と
泰日工業大学クリサンダー学長

(午後)

学内の施設見学を行いました。



図書館 日本語の本もありました



実習の様子



カフェテリア
大学生は制服を着用しなければなりません

7月19日(木)

これから、交流を深めていくポディンデチャー第2高校を訪問しました。タイ国立の中高一貫校です。



タイでも、近年はマンションが多くなってきたため、伝統的な家屋が消えつつあるそうです。校内に、タイの昔ながらの伝統的家屋のモデルが建てられており、生徒たちは文化や伝統を継承して学んでいるそうです。